令和７年度全学自己点検・評価報告書

学部等名　　危機管理学部

基準２ 内部質保証

１　内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価し，改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名（例：教授会，自己点検・評価委員会，内部質保証推進委員会等）を明記してください。

P		D		C		A
・執行部会議	→	・各種委員会	→	・三軒茶屋キャンパス内部質保証推進委員会 ・三軒茶屋キャンパス自己点検・評価委員会 （執行部会議）	→	・各種委員会 （執行部会議）



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目③

内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価を行い，改善・向上に向けた取組を行っていること。

＜評価の視点＞

・内部質保証システムの整備や機能の状況を定期的に点検・評価し，その結果に基づき，教育の質を保証する仕組みとしてより有効に機能できるよう改善・向上に取り組んでいるか。

⑪　学部等における内部質保証システムが有効に機能しているか，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

本部と連携をして，絞り込んだ項目を三軒茶屋キャンパス自己点検・評価委員会で集中的に点検・評価していたが，今年度からは，次期認証評価を見据え，全項目において点検・評価を執行部の指示の下，実施するよう改善を図った。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

【提言（改善課題）】

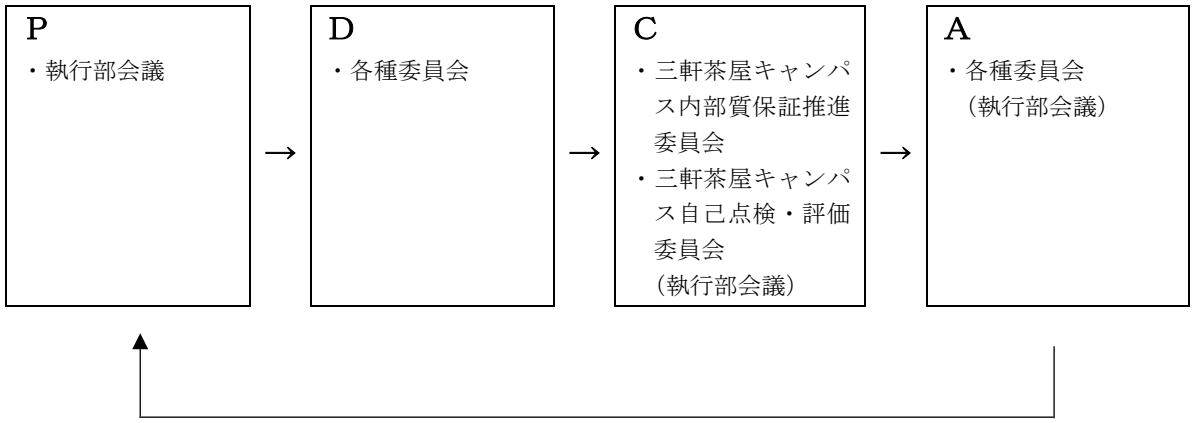
卒業・進学・就職等に関する教育情報が定期更新時の点検漏れにより未更新となっていた点については，更新体制を強化し，情報公開の適正性を確保するよう改善が求められ

る。

卒業・進学・就職等に関する教育情報が定期更新時の点検漏れにより未更新となっていた点については，執行部会議（P）から各種委員会（D）（今回企画広報委員会）に更新体制を強化するよう依頼し，情報公開の適正性を確保するよう改善を図った。具体的には，企画広報委員会（D）が改善に向けて検討を行い，令和８年２月に両学部長宛て（執行部会議（C））改善事項について答申予定である。執行部会議（C）は答申を受け，その内容を検証した上で，各種委員会（A）への改善・向上に向けた諮問を行うこととしている。

基準３ 教育研究組織

１　教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー&ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

・教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。

・点検・評価の結果を活用して，教育研究組織に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。

⑫　学問の動向や社会的要請等に対応すべく，学科や研究所の新設，学科の改組等，教育研究組織の見直しについて，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

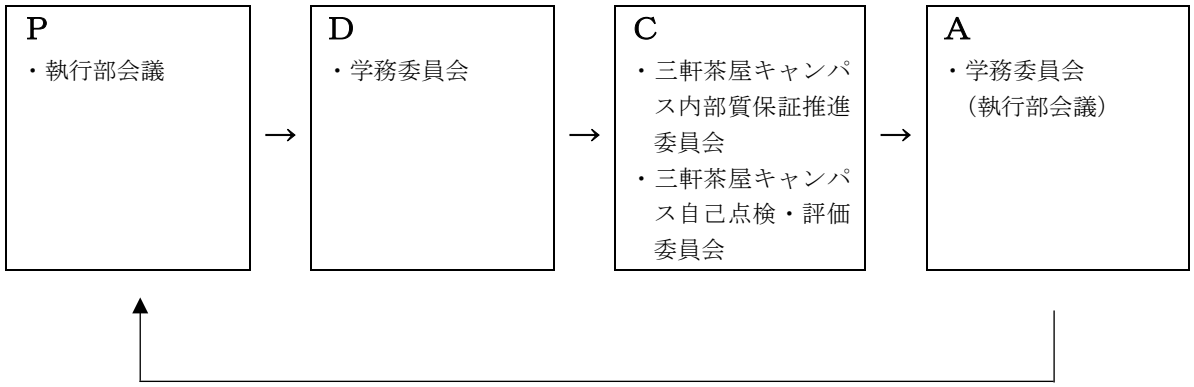
執行部会議（Ｐ）から各種委員会（Ａ）に対し意見を伺い，三軒茶屋キャンパスでは，ほとんどの委員会が両学部合同となっているが，各学部の専門性に即した教学運営に課題があることが判明した。そこで執行部会議（Ｃ）は，各学部の権限と責任に基づいた意思決定を可能とするため，各学部に委員会設置が可能となるよう規程改正の上，次年度から各種委員会（Ａ）の体制改善に向けて検討している。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準４ 教育・学習

１　教育課程及びその内容，教育方法について定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー&ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目⑥

教育課程及びその内容，教育方法について定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等を明確にしているか。**
- **課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況，資格試験の取得状況，進路状況等の情報を活用するなど，適切な情報に基づいているか。**
- **自己点検・評価の結果を活用し，教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。**

⑸　教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等について記述してください。

執行部会議（Ｐ）から，各学期（前学期・後学期）における教育の内部質保証のための点検・改善について学務委員会（Ｄ）に提言し，学務委員会（Ｄ）は，各教員に対し学期ごとに授業改善計画書を作成させ，自身の授業について振り返る機会を設定している。また学期ごとに学生による授業評価アンケートも実施し，各教員に結果を配信の上，改善を促している。学務委員会（Ｄ）は，実施状況を三軒茶屋キャンパス自己点検・評価委員会（Ｃ）に報告し，三軒茶屋キャンパス自己点検・評価委員会（Ｃ）は，その報告内容を確認・評価した上で，学務委員会（Ａ）への改善・向上を促すこととしている。

⑸　教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に当たり，自己点検・評価の結果をどのように活用しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

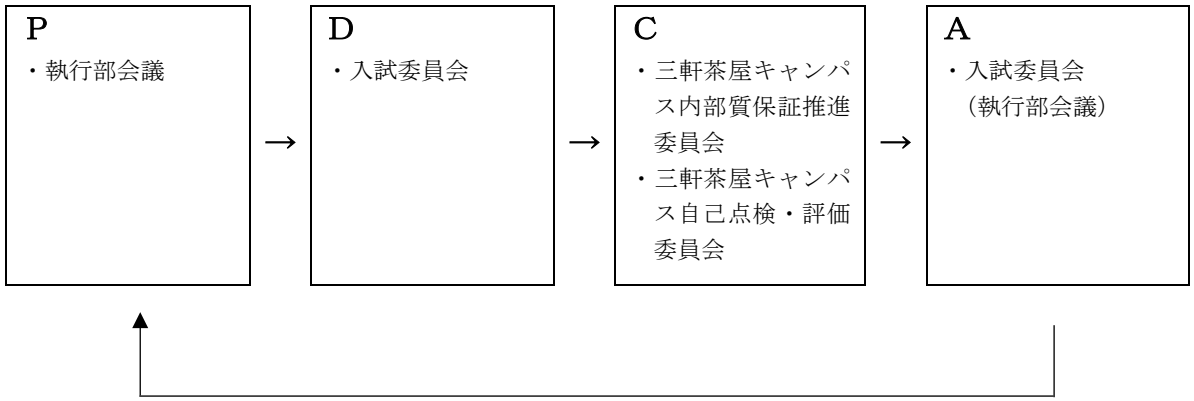
三軒茶屋キャンパス自己点検・評価委員会（C）による自己点検・評価結果を三軒茶屋キャンパス内部質保証推進委員会（C）及び執行部会議（A）で報告し，執行部会議（P）は，その報告内容を次年度の事業計画作成や学務委員会（D）への諮問に活用し，次年度の教育活動等の改善に反映，実行している。

3　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準５ 学生の受け入れ

１　学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー&ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目③

学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

㊾　学生の受け入れに関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

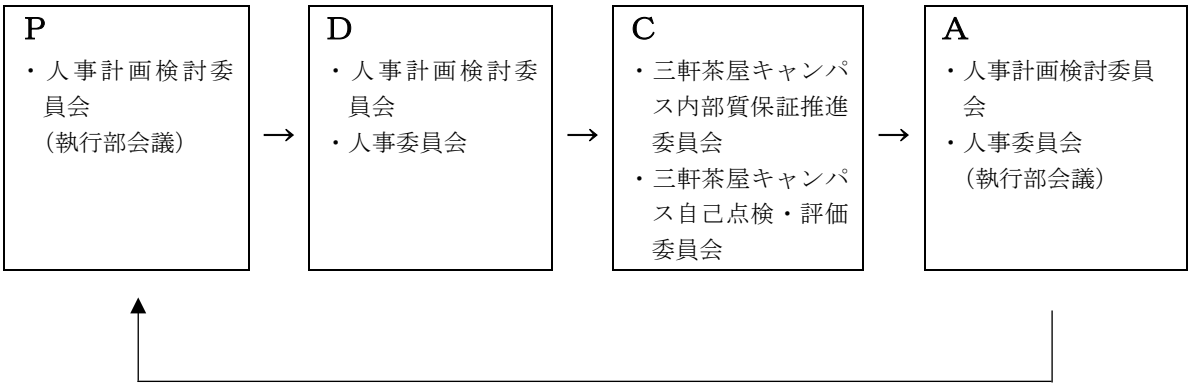
入学時アンケートの取得，入学者の属性分析等を実施して，入試制度の最適化に役立てている。具体的には，入試委員会（D）で入学者の属性分析等を実施し，三軒茶屋キャンパス内部質保証推進委員会（C）及び三軒茶屋キャンパス自己点検・評価委員会（C）で入試制度の最適化の観点で点検・評価を行っている。その評価内容について入試委員会（A）で確認・検討を実施し，その改善方策（総合型選抜の種類増及び一般入学者選抜及び転部・編入学試験の日程検討等）を執行部会議（P）に提言している。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準６ 教員・教員組織

１　教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー&ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目④
教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。
＜評価の視点＞
・教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
・点検・評価の結果を活用して，教員組織に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。

㊽　教員組織に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

毎年度，自己点検・評価を行っている。各委員会の委員長が集まり，教授会の日に委員長懇談会を開いて意見交換を行っている。
特に今年度から学部執行部で毎週一定の項目を抽出して協議，改善に向けて取り組んでいる。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

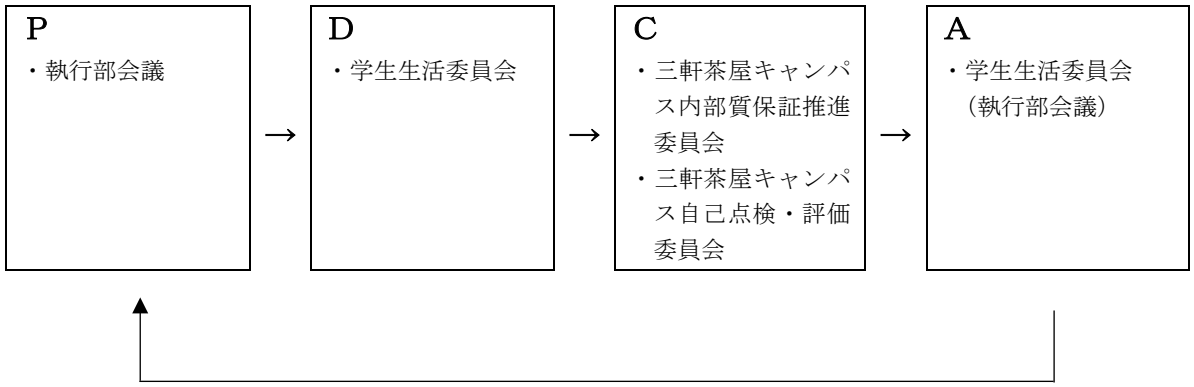
【提言（改善課題）】
具体的な時間割編成方法や人員配置の根拠が示されておらず，実際に適切な授業負担が実現しているかを客観的に判断することが難しいため，改善が求められる。
紹介に依拠した採用方法のみでは，教員採用の公正性や透明性，多様性の確保という点に課題が残る。特に，外部への広報や公募の実施が確認できないことから，開かれた採用機

会の保障や広範な人材からの選抜機会の創出といった観点で不十分と言わざるを得ないため，改善が求められる。
　実質的な取組の内容や成果（女性応募者の割合や採用実績，選考時の配慮等）については明記されておらず，今後の具体的施策や制度的な支援体制の強化が課題であり，改善が求められる。
　現状では評価方法や基準の具体性，成果のフィードバック方法についての記述が限定的であるため，改善が求められる。

　学部等教員組織編制方針に基づき人員配置を行っているが，客観的に判断が可能となるよう担当コマ数による適切な授業負担を図るなど，執行部会議・人事計画検討委員会で改善を計画検討し，人事計画検討委員会・人事委員会で改善実行を図る。
　採用方法については，危機管理学のオールハザードアプローチに基づいた４領域である①災害マネジメント領域，②パブリックセキュリティ領域，③グローバルセキュリティ領域，④情報セキュリティ領域及び新カリキュラムで展開するガバナンス・コンプライアンスなどの授業を担当できる専門家をバランスよく配置すること執行部会議・人事計画検討委員会で心掛けている。カリキュラムで必要な人材をリストアップされた候補者について，人事委員会で審査を行っている。

基準７ 学生支援

１　学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー&ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②
学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。
＜評価の視点＞
・学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
・点検・評価の結果を活用して，学生支援に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。

㊽　学生支援に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

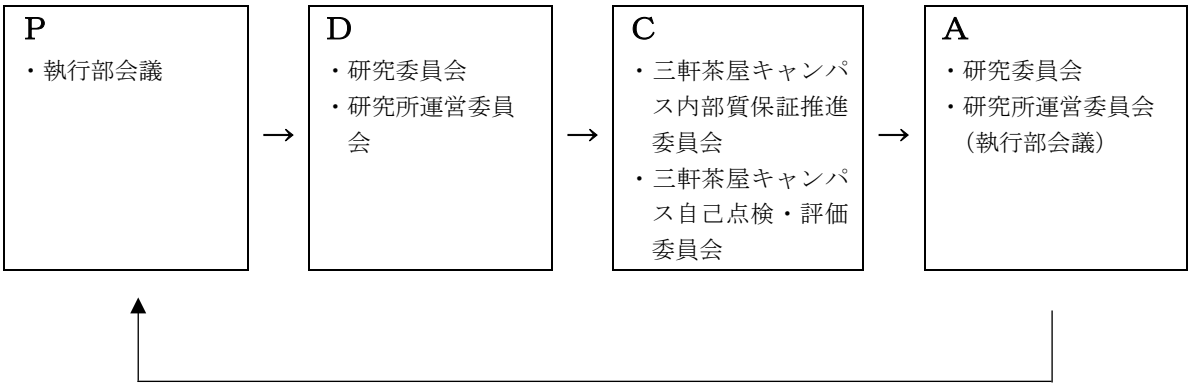
定期的に学生生活委員会及び学生支援委員会を開催し，課題の把握，改善に努めている。
学生支援に関わる事項を定期的に点検するために，学生生活委員会において，細かな担当制を設けて，責任もって一人一人の学生の伴走支援に取り組んでいる点は評価できる。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準８ 教育研究等環境

１　研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー&ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目④

教育研究等環境に関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，研究等環境に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

⑩　研究等環境に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

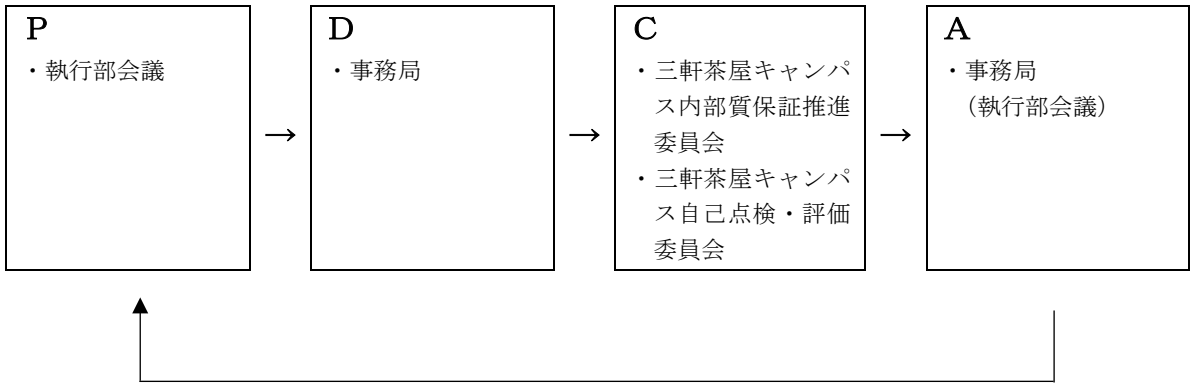
危機管理学部執行部及び三軒茶屋キャンパス自己点検・評価委員会では，ＰＤＣＡサイクルを意識して，年次ごとに，前年に立てた事業計画（教育研究等環境に関わる状況含む）がどの程度達成されたかについて，「事業報告」の一環として自己点検評価を実施している。その結果，改善の余地がある事案に関して継続的にブラッシュアップし，効果的な取組へとつなげている。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準９ 社会連携・社会貢献

１　社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー&ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

社会連携・社会貢献活動の状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，社会連携・社会貢献に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

⑯　社会連携・社会貢献に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

危機管理学部では，三軒茶屋キャンパス自己点検・評価委員会において当該事項に関する点検・評価を定期的に実施し，執行部会及び三軒茶屋キャンパス内部質保証推進委員会に報告している。今年度の三軒茶屋キャンパス自己点検・評価委員会（C）によって，組織体制の未確立が問題と指摘されたことから，執行部会議（A）・（P）において検討を行い，来年度は地域連携委員会（D）を設置予定としている。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし